



新政会
安楽 良 幸

災害対策本部の移転について

質問 平成28年第3回定例会で、市役所庁舎内の災害対策本部が、建物浸水などの影響により、使用できなくなった場合、二の坂町に所在するスポーツセンターに移転する旨の答弁があったが、移転に関する計画が作成されているのか伺う。

答弁 移転計画については、現在、昨年8月の台風の影響による大雨被害対応を検証し、職員用の災害対策本部マニュアルの見直し作業を進めており、その中で新たに耐震化されたスポーツセンター第1体育館を使用した当該対策本部のレイアウトおよび情報通信などを含め、代替施設機能を果たせるよう検討し、出水期までに当該マニュアルに反映していく考えです。

質問 災害対策本部を移転する場合の判断基準があるのか伺う。

答弁 現在、明確な判断基準はありませんが、河川堤防の越流や破

堤および市役所庁舎内に内水氾濫の危険性がある場合には移転となります。今後、準備・移動・設営などに要する時間的なものを踏まえ、移転の判断基準について適正に進めていきたいと考えています。

スポーツ施設の改修について

質問 昨年度からスポーツ施設が逐次改修されていることは、評価するが、市民の健康増進と大規模大会招致による本市の経済活性化を考えると、来年度以降も継続して老朽化した施設の整備・改修を実施すべきと考える。

今後、市としてのどのような方向性で整備・改修を進めていくのか考えを伺う。

答弁 屋外スポーツ施設については、老朽化により降雨時の排水機能の不全など、施設の利用に大きな支障が出ています。これまで耐震改修や、その他関係法令に適合するための改修など、屋内施設を優先的に実施してきましたが、安全確保に一定のめどがついたので、今後は屋外各施設の使用支障度合い・利用者数・大会誘致の可能性を考慮して検討します。



公明党
三上 裕 久

(仮称) 女性活躍推進センター機能について

質問 女性活躍推進センター内あるいは隣接地に、子育て中の母親から要望の多い、天候に左右されない屋内遊技場を設置する考えがあるのか伺う。

答弁 民間企業の活力を最大限に活用する機能の一つとして、費用対効果等を踏まえ、実現の可能性を考慮し検討します。

質問 妊娠期から出産、子育て期への切れ目のない支援について、ネウボラ事業を推進する考えがあるのか伺う。

答弁 ネウボラ事業を取り入れながら、切れ目ないワンストップを図っていききたいと考えています。

出産直後の心身のケアについて

質問 近年、母親の育児不安から0歳児への虐待件数が増加傾向にあるようだが、出産直後の心身ケアおよび孤立感の解消に向けた現状の取り組みについて伺う。

の取り組みについて伺う。

答弁 妊婦相談を妊娠届出時と妊娠中期の2回実施しています。また、孤独感・育児不安の解消を図るため、新生児の全戸訪問などに取り組んでいます。

就学援助制度について

質問 平成29年度、要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱の一部改正により、小学校への入学年度開始前の学用品費などの支給が可能となったが、本市では入学前に支給する考えがあるのか伺う。

答弁 入学前の支給が可能となるよう本市の要綱改正や周辺自治体と情報交換を行い、しっかり検討を進めます。

給付型奨学金について

質問 平成30年度から大学等へ進学を希望される方へ返還義務のない奨学金制度が本格実施となるが、大学等への進学希望者に対する周知とサポート体制を伺う。

答弁 滝川西高等学校では、奨学金説明会で制度や推薦基準の説明を行い周知・支援しています。